

厚生労働大臣 舩添 要一 殿

学校法人 岩手医科
理事長 大 堀

岩手医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | |
|--------|-----|
| 研修医の人数 | 62人 |
|--------|-----|

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職 種 | 常 勤 | 非 常 勤 | 合 計 | 職 種 | 員 数 | 職 種 | 員 数 |
|---------|------|-------|--------|-----------|-----|-------------|------|
| 医 師 | 321人 | 67人 | 345.2人 | 看護業務補助 | 42人 | 診療エックス線技師 | |
| 歯 科 医 師 | 116人 | | 116人 | 理学療法士 | 6人 | 臨床 臨床検査技師 | 75人 |
| 薬 剤 師 | 51人 | | 51人 | 作業療法士 | 4人 | 検査 衛生検査技師 | 1人 |
| 保 健 師 | | | | 視能訓練士 | 6人 | そ の 他 | |
| 助 産 師 | 36人 | | 36人 | 義肢装具士 | | あん摩マッサージ指圧師 | 4人 |
| 看 護 師 | 903人 | | 903人 | 臨床工学技士 | 7人 | 医療社会事業従事者 | 9人 |
| 准 看 護 師 | 7人 | | 7人 | 栄 養 士 | 8人 | その他の技術員 | 59人 |
| 歯科衛生士 | 37人 | | 37人 | 歯 科 技 工 士 | 10人 | 事 務 職 員 | 114人 |
| 管理栄養士 | 12人 | | 12人 | 診療放射線技 | 49人 | そ の 他 の 職 員 | |

- (注)1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯 科 等 | 合 計 |
|--------------|----------|--------|----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 781.6人 | 26.5人 | 808.1人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,617.6人 | 390.2人 | 2,007.8人 |
| 1日当たり平均調剤件数 | 1,519.9剤 | | |

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤件数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| 高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 凍結保存同種組織を用いた外科治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 胎児心超音波検査 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| インプラント義歯 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 顎顔面補綴 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 0人 |
| 顎関節症の補綴学的治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 人工括約筋を用いた尿失禁の治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 光学印象採得による陶材歯冠修復法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 経皮的レーザー椎間板減圧術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| CTガイド下気管支鏡検査 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 先天性血液凝固異常症の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 三次元形状解析による顔面の形態的診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 0人 |
| 子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 腹腔鏡下肝部分切除術 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 14人 |
| 悪性腫瘍に対する陽子線治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| エキシマレーザーによる治療的角膜切除術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 成長障害のDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 声帯内自家側頭筋膜移植術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨髄細胞移植による血管新生療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ミトコンドリア病のDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 鏡視下肩峰下腔徐圧術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 神経変性疾患のDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 難治性眼疾患に対する羊膜移植術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 重粒子線治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 神経芽腫のRNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 重症BCG副反応症例における遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| 低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|------|--------|
| 悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析 | 有・無 | 人 |
| Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| エキシマレーザー冠動脈形成術 | 有・無 | 人 |
| 活性化Tリンパ球移入療法 | 有・無 | 人 |
| 家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術 | 有・無 | 人 |
| 三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療 | 有・無 | 人 |
| 泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術 | 有・無 | 人 |
| HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 | 有・無 | 人 |
| 頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術 | 有・無 | 人 |
| ケラチン病の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 末梢血幹細胞による血管再生治療 | 有・無 | 人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療 | 有・無 | 人 |
| 一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 | 有・無 | 人 |
| カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 | 有・無 | 人 |
| 先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 超音波骨折治療法 | 有・無 | 0人 |
| CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 | 有・無 | 人 |
| 非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 | 有・無 | 人 |
| X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 | 有・無 | 人 |
| 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 | 有・無 | 人 |
| 膀胱水圧拡張術 | 有・無 | 人 |
| 色素性乾皮症に係る遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法 | 有・無 | 人 |
| セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術 | 有・無 | 人 |
| 腹腔鏡下直腸固定術 | 有・無 | 人 |
| 骨移動術による関節温存型再建 | 有・無 | 人 |
| 肝切除手術における画像支援ナビゲーション | 有・無 | 人 |
| 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍) | 有・無 | 人 |
| 自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法 | 有・無 | 人 |
| 自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法 | 有・無 | 人 |
| リアルタイムPCRを用いた迅速診断 | 有・無 | 人 |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術 | 有・無 | 人 |
| 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術 | 有・無 | 人 |
| 先天性難聴の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| フェニルケトン尿症の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 培養細胞による先天性代謝異常診断 | 有・無 | 人 |
| 腹腔鏡下子宮体がん根治手術 | 有・無 | 人 |
| 培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断 | 有・無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--------------------------------------|------|--------|
| 内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術 | ①有・無 | 9人 |
| 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術 | 有・無 | 人 |
| 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | 有・無 | 人 |
| カフェイン併用化学療法 | 有・無 | 人 |
| 胎児尿路・羊水腔シャント術 | 有・無 | 人 |
| 筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療 | 有・無 | 人 |
| 胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 | 有・無 | 人 |
| 腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 | 有・無 | 人 |
| 内視鏡下甲状腺がん手術 | 有・無 | 人 |
| 骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法 | 有・無 | 人 |
| 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法 | 有・無 | 人 |
| 胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術 | 有・無 | 人 |
| 早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 | 有・無 | 人 |
| 副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法 | 有・無 | 人 |

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

顔面・頭蓋骨移動術 有 2人
顎関節鏡下レーザー手術併用による円板縫合固定術 有 1人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱い患者数 | 疾患名 | 取扱い患者数 |
|------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病 | 108人 | ・モヤモヤ病（ウイルス動脈輪閉塞症） | 52人 |
| ・多発性硬化症 | 104人 | ・ウェゲナー肉芽腫症 | 8人 |
| ・重症筋無力症 | 111人 | ・特発性拡張型（うっ血型）心筋症 | 17人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 290人 | ・多系統委縮症 | 21人 |
| ・スモン | 2人 | ・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型） | 1人 |
| ・再生不良性貧血 | 87人 | ・膿疱性乾癬 | 18人 |
| ・サルコイドーシス | 192人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 0人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 41人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 103人 |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 227人 | ・重症急性膵炎 | 18人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 111人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 10人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 18人 | ・混合性結合組織病 | 73人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 191人 | ・原発性免疫不全症候群 | 10人 |
| ・大動脈炎症候群 | 21人 | ・特発性間質性肺炎 | 12人 |
| ・ピュルガー病 | 8人 | ・網膜色素変性症 | 106人 |
| ・天疱瘡 | 52人 | ・プリオン病 | 0人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 70人 | ・原発性肺高血圧症 | 9人 |
| ・クローン病 | 114人 | ・神経線維腫症 | 40人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 8人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 1人 |
| ・悪性関節リウマチ | 12人 | ・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群 | 3人 |
| ・パーキンソン病関連疾患 | 432人 | ・特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧型） | 2人 |
| ・アミロイドーシス | 20人 | ・ライソゾーム病（ファブリー[Fabry]病）含む | 3人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 140人 | ・副腎白質ジストロフィー | 0人 |
| ・ハンチントン病 | 3人 | | |

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

| | | |
|-------------------------------------|--|-----------|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | ①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 | |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 1ヶ月に2回 | |
| 剖 検 の 状 況 | 剖検症例数 28 例 | 剖検率 7.3 % |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 千円 | 補助元又は委託元 |
|---|---------------|--------------------------------|--------|--|
| 遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援あり方に関する研究 | 澤井 高志 | 病理学第一講座 | 1,800 | 補 がん臨床研究事業 委 |
| 混合型結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究 | 澤井 高志 | 病理学第一講座 | 1,800 | 補 難治性疾患克服研究事業 委 |
| 関節リウマチ・骨粗鬆症の重症化防止治療開発研究 | 宇月 美和 | 病理学第一講座 | 5,000 | 補 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 委 |
| ES細胞由来神経細胞を用いた薬剤の神経毒性評価システムの開発と神経毒性関連遺伝子・タンパク質データベース構築 | 入江 康至 | 薬理学講座 | 1,300 | 補 創薬基盤推進研究事業 委 |
| 急性循環器疾患の発症登録による発症病態分析と要因解明および治療効果の評価および活用に関する研究 | 坂田 清美 | 衛生学公衆衛生学講座 | 5,000 | 補 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 委 |
| 骨粗鬆症性骨折の実態調査および全国的診療データベース構築の研究 | 坂田 清美 | 衛生学公衆衛生学講座 | 3,000 | 補 長寿科学総合研究事業 委 |
| 食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究:NIPPONDATE 30・90の追跡調査 | 坂田 清美 | 衛生学公衆衛生学講座 | 500 | 補 長寿科学総合研究事業 委 |
| 特定疾患の疫学に関する研究 | 坂田 清美 | 衛生学公衆衛生学講座 | 3,000 | 補 難治性疾患克服研究事業 委 |
| ヒト肝3次元培養系、マウス・ヒト肝細胞融合系による新規医薬品毒性評価系に関する基盤研究 | 小澤 正吾 | 薬物代謝動態学講座 | 14,800 | 補 創薬基盤推進研究事業 委 |
| ヒト腸管組織を用いた薬物代謝酵素活性評価法の開発 | 幅野 涉 | 薬物代謝動態学講座 | 2,800 | 補 政策創薬総合研究事業 委 |
| 深在性真菌症と輸入真菌症に関する新しい検査法と抗真菌薬の開発、並びに病原因子の解明に向けたポストゲノムの基盤的研究 | 上原 至雅 | 微生物薬品創薬学講座 | 3,200 | 補 政策創薬総合研究事業 委 |
| 肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究 | 阿部 弘一 | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 | 2,000 | 補 厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業(田中班) 委 |
| 難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究 | 鈴木 一幸 | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 | 400 | 補 厚生労働省 特定疾患対策研究事業(大西班) 委 |
| 岩手県民の動脈硬化遺伝素因の研究 | 佐藤 謙 | 内科学講座 糖尿病・代謝内科分野 | 1,000 | 補 岩手県地域医療研究費補助金 委 |
| 糖尿病予防のための戦略研究課題3 :jD01T3 | 佐藤 謙 | 内科学講座 糖尿病・代謝内科分野 | 3,000 | 補 国際協力医学研究振興財団 委 |
| 急性循環器疾患の発症登録による発症病態分析と要因解明および治療効果の評価および活用に関する研究 | 中村 元行 岡山 明 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 | 1,000 | 補 厚生労働省科学研究費補助金 委 |
| 心臓・血管検診クリニックのよる一般住民を対象とした循環器疾患コホート研究 | 中村 元行 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 | 2,000 | 補 公益信託日本動脈硬化予防研究基金 委 |
| 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の発症と病態に関わる遺伝子多型の研究 | 井上 洋西 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病 内科分野 | 1,000 | 補 岩手県地域医療研究費補助金 委 |
| 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「ガイドライン普及のための対策とそれに伴うQOLの向上に関する研究」 | 山内 広平 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病 内科分野 | 700 | 補 厚生労働省科学研究費補助金 委 |
| 炎症抑制シグナル蛋白による気道炎症制御の試み | 山内 広平 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病 内科分野 | 1,000 | 補 文部科学省研究費補助金 委 |
| 急性循環器疾患の発症登録による発症病態分析と要因解明および治療効果の評価および活用に関する研究 | 寺山 靖夫 | 内科学講座 神経内科・老年科 | 1,000 | 補 厚生労働省科学研究費補助金(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業(岡山班)) 委 |
| 急性期脳梗塞の血圧動態と降圧療法に関する研究 | 寺山 靖夫 | 内科学講座 神経内科・老年科 | 1,200 | 補 循環器病研究委託費(18公-3 宮下班) 委 |
| 片頭痛に対する画期的治療方の開発に関する研究 | 寺山 靖夫 | 内科学講座 神経内科・老年科 | - | 補 こころと健康科学研究事業 委 |
| 脳梗塞急性期から開始する筋萎縮阻止薬療法が慢性期運動機能に与える影響に関する研究 | 寺山 靖夫 | 内科学講座 神経内科・老年科 | - | 補 長寿科学総合研究事業 委 |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

・研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 千円 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|-----------|--------|------------------------------------|
| 第IV期食道がんに対する標準的治療法の確立に関する研究 | 池田 健一郎 | 外科学講座 | 700 | 補 がん臨床研究事業 委 |
| 介護情報を活用した脳卒中治療連携体制が運動機能障害予防に及ぼす影響に関する大規模研究 | 小川 彰 | 脳神経外科学講座 | 21,000 | 補 厚生労働省科学研究費(H19-長寿-一般-030) 委 |
| 脳梗塞に対する予防的外科治療の効果の科学的評価と治療リスク軽減に関する研究 | 小川 彰 | 脳神経外科学講座 | 10,000 | 補 公益信託美原脳血管障害研究振興基金 委 |
| SPECTを用いた脳血管病変診断法の標準化と臨床的評価 | 小川 彰 | 脳神経外科学講座 | 8,000 | 補 厚生労働省循環器病研究委託費 委 |
| 急性循環器疾患の発症登録による発症病態分析と要因解明および治療効果の評価および舌用に関する研究 | 小川 彰 | 脳神経外科学講座 | 500 | 補 厚生労働省科学研究費循環器疾患等総合研究事業 委 |
| 高次脳機能を温存する転移性脳腫瘍の治療法確立に関する研究 | 小川 彰 | 脳神経外科学講座 | 700 | 補 厚生労働省科学研究費がん臨床研究事業 委 |
| 悪性脳腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究 | 別府 高明 | 脳神経外科学講座 | 1,000 | 補 厚生労働省科学研究費がん臨床研究事業 委 |
| 脳血管疾患診断マーカーの道程と新規診断薬の研究開発 | 小川 彰 | 脳神経外科学講座 | 0 | 補 独立行政法人科学技術振興機構JSTサテライ 委 |
| 弓部大動脈全置換術における超低体温療法と中等度低温療法のランダム化比較試験 | 岡林 均 | 心臓血管外科学講座 | 1,000 | 補 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 委 |
| 長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究 | 岡林 均 | 心臓血管外科学講座 | 1,000 | 補 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 委 |
| 唇裂口蓋裂患者の精神状態分析と満足度に対する研究 | 那須 和佳子 | 形成外科学講座 | 1,200 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 遊離皮弁移植法におけるサーモグラフィーを用いた簡便な皮弁血流評価 | 小林 誠一郎 | 形成外科学講座 | 1,050 | 補 地域医療研究事業計画 委 |
| がん外科治療における形成再建手技の確立に関する研究 | 柏 克彦 | 形成外科学講座 | 300 | 補 研究協力 H20年度厚生労働省がん研究助成金(木股班) 委 |
| 骨トランスポート法による頭蓋骨欠損の再建新生骨に発現するBMPの局在と経時変化 | 本多 孝之 | 形成外科学講座 | 3,250 | 補 文部科学省科学研究費基盤研究(C) 委 |
| 進行・再発子宮頸がんに対する標準的治療体系の確立に関する研究 | 杉山 徹 | 産婦人科学講座 | 500 | 補 がん臨床研究事業 委 |
| がん領域における薬剤のエビデンス確立を目的とした臨床研究 | 杉山 徹 | 産婦人科学講座 | - | 補 がん臨床研究事業 委 |
| 全国規模の多施設共同ランダム化比較試験と背景因子分析に基づく早産予防ガイドラインの作成 | 福島 明宗 | 産婦人科学講座 | - | 補 子ども家庭総合研究事業 委 |
| 先天性心疾患の超音波遠隔診断に関する研究 | 千田 勝一 | 小児科学講座 | 1,100 | 補 平成19年度岩手県地域医療研究事業 委 |
| 新生児危急の心疾患の超音波遠隔診断に関する研究 | 高橋 信 | 小児科学講座 | 450 | 補 平成19年度森永奉仕会研究奨励金 委 |
| 急性高度難聴に関する調査研究 | 佐藤 宏昭 | 耳鼻咽喉科学講座 | 1,100 | 補 厚生科学労働研究費補助金 委 |
| 老人性難聴に関連するミトコンドリア遺伝子多型の検索 | 大塚 尚志 | 耳鼻咽喉科学講座 | 900 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 透析施設におけるC型肝炎院内感染の状況・予後・予防に関する研究 | 藤岡 知昭 | 泌尿器科学講座 | 8,680 | 補 肝炎等克服緊急対策研究事業 委 |
| 自殺対策のための戦略研究「複合的自殺対策プログラムの自殺企図予防効果に関する地域介入研究」 | 酒井 明夫 | 神経精神科学講座 | 12,100 | 補 厚生労働省科学研究費(こころの健康科学研究事業) 委 |
| 自殺対策のための戦略研究「自殺企図の再発防止に対する複合的ケース・マネジメントの効果:多施設共同による無作為化比較研究」 | 酒井 明夫 | 神経精神科学講座 | 8,600 | 補 厚生労働省科学研究費(こころの健康科学研究事業) 委 |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

・ 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 千円 | 補助元又は委託元 |
|--|---------------|----------|--------|-------------------------------------|
| 高齢者の心の健康と自殺予防に関する広域にわたる包括的事業 | 酒井 明夫 | 神経精神科学講座 | 1,900 | 補 財団法人岩手県長寿社会振興財団 委 高齢者保健福祉基金助成金 |
| 自死遺族への支援体制の構築を目的とした心理的剖検に関する調査・研究及びかかりつけ医等医療関係者研修会開催事業 | 酒井 明夫 | 神経精神科学講座 | 7,541 | 補 岩手県委託事業 委 |
| ソルバー先生の“こころ”と“いのち”に関する啓発事業 | 酒井 明夫 | 神経精神科学講座 | 635 | 補 財団法人岩手県長寿社会振興財団 委 高齢者保健福祉基金助成金 |
| 既存の地域精神科救急システムを活用した地域精神科医医療施設の共同運用による地域生活支援モデル事業 | 酒井 明夫 | 神経精神科学講座 | 14,900 | 補 厚生労働省 委 |
| 大規模緊急事態援護担当者のメンタルヘルス・ガイドライン | 野田 文隆 鈴木 満 | 神経精神科学講座 | 700 | 補 外務省領事局海外邦人安全課 委 |
| IT-MRIおよび分子遺伝学的手法を用いた精神障害の病態研究 | 鈴木 満 | 神経精神科学講座 | 1,488 | 補 日本私立学校振興・共済事業 委 団研究科特別補助経費 |
| 多職種勤労者の過重労働因子と疲労蓄積度に関する調査研究 | 鈴木 満 | 神経精神科学講座 | 1,573 | 補 労働福祉事業団調査研究助成 委 研究代表者 |
| 自殺対策のための戦略研究 | 大塚 耕太郎 | 神経精神科学講座 | - | 補 こころと健康科学研究事業 委 |
| 放射線照射によって液体内容を放出するマイクロ・カプセルの開発 | 原田 聡 | 放射線医学講座 | 120 | 補 東京大学 日本原子力開発機構 委 重点研究 |
| 閉塞性動脈硬化症に対する非侵襲的診断、治療の標準化 | 田中 良一 | 放射線医学講座 | 105 | 補 岩手県地域医療研究事業 委 |
| 心臓弁膜症に対する新しい非侵襲的診断法の開発 | 吉岡 邦浩 | 放射線医学講座 | 220 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 局所療法適応外の肝細胞がんに対する経動脈敏治療法標準化(手技を含む)の研究 | 曾根 美雪 | 放射線医学講座 | 1,000 | 補 がん研究助成金 委 |
| 正常圧水頭症と関連疾患の病因・病態と治療に関する研究 | 佐々木 真理 | 放射線医学講座 | - | 補 難治性疾患克服研究事業 委 |

計 61件
169,812千円

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|---|---------------------|
| J Gastroenterol 42:560-566(2007) | Analysis of hepatitis A virus protein 2B in sera of hepatitis A of various severities. | Fujiwara K, Yokosuka O, Imazeki F, Miki M, Suzuki K, Okita K, Tanaka E, Omata M | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 |
| Hepato-Gastroenterology 54:871-877(2007) | Genetic Analysis of Hepatitis A Virus Protein 2C in Sera from Patients with Fulminant and Self-limited Hepatitis A | Fujiwara K, Yokosuka O, Imazeki F, Miki M, Suzuki K, Okita K, Tanaka E, Omata M | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 |
| J Gastroenterology 42(2):168-175(2007) | A male patient with severe acute hepatitis who was domestically infected with a genotype H hepatitis B virus in Iwate, Japan. | Kumagai I, Abe K, Oikawa T, Sato A, Sato S, Endo R, Takikawa Y, Suzuki K, Masuda T, Sainokami S, Endo K, Takahashi M, Okamoto H | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 |
| J Gastroenterology 42(3):241-249(2007) | Initial load of hepatitis B virus(HBV), its changing profile, and precore/core promoter mutations correlate with the severity and outcome of acute HBV infection. | Sainokami S, Abe K, Sato A, Endo R, Takikawa Y, Suzuki K, Okamoto H | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 |
| Hep Res 37:248-254(2007) | Interleukin-17 as new marker of severity of acute hepatic injury. | Yasumi Y, Takikawa Y, Endo R, Suzuki K, | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 |
| Hepato Res 37:158-165(2007) | A case of acute hepatitis E associated with multidrug hypersensitivity and cytomegalovirus reactivation. | Takikawa Y, Yasumi Y, Sato S, Endo R, Suzuki K, et al. | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 |
| Hepato Res 37:158-165(2007) | | Takikawa Y, Yasumi Y, Sato S, Endo R, Suzuki K, et al. | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 |
| 医学と薬学 24(4):55-58(2007) | C型慢性肝炎に対するイントロンリバビリン併用療法の有用性 —東北地区における他施設共同研究成績— | 阿部 弘一 須藤 俊之 棟方 昭博 渡辺 純夫 後藤 隆 下瀬川 徹 上野 義之 河田 純男 斉藤 貴史 佐藤 由紀夫 大平 弘正 | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|---|----------------------------|
| | | 宮崎 豊 新沢 陽英 鈴木 義広 熊谷 一郎 宮坂 昭生 鈴木 一幸 東北ウイルス肝炎治療 研究グループ | |
| 治療学 41:343-347(2007) | 急性肝不全治療戦略 | 滝川 康裕 鈴木 一幸 | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 |
| Surgery Frontier 14:126-132(2007) | 劇症肝炎・肝不全の原因と病態 | 遠藤 龍人 滝川 康裕 鈴木 一幸 | 内科学講座 消化器・肝臓内科分野 |
| Tohoku J Exp Med 211:251-258, 2007 | Association of TNF- α Gene Promoter C-857T Polymorphism with Higher Serum LDL Cholesterol Levels and Carotid Plaque Formation in Japanese Patients with Type 2 Diabetes. | Ymashina M, Kaneko Y, Maesawa C, Kajiwara T, Ishii M, Fujiwara F, Taneichi H, Takebe N, Ishida W, Takahashi K, Masuda T, Satoh I | 内科学講座 糖尿病・代謝内科分野 |
| Tohoku J Exp Med 212:265-273, 2007 | Decrease in mortality rate of chronic obstructive pulmonary disease (COPD) with statin use: A population-based analysis in Japa. | Ishida W, Kajiwara T, Ishii M, Fujiwara F, Taneichi H, Takebe N, Takahashi K, Kaneko Y, Segawa I, Inoue H, Satoh I | 内科学講座 糖尿病・代謝内科分野 |
| 糖尿病 50: 799-806, 2007 | 糖尿病神経障害の発症頻度と臨床診断におけるアキレス腱反射の意義 —東北地方15,000人の実態調査— | 佐藤 譲 馬場 正之 八木橋 操六 須田 俊宏 富永 真琴 大門 真 渡辺 毅 岡 芳知 豊田 隆謙 東北糖尿病合併症 フォーラムプロジェクト会 | 内科学講座 糖尿病・代謝内科分野 |
| Therapeutic Research 28:1163-1167, 2007 | 高血圧を合併した糖尿病患者に対するOlmesartan の効果 —他ARBとの比較を含めて— | 金子 能人 石井 基嗣 藤原 史門 梶原 隆 種市 春仁 武部 典子 石田 弥 佐藤 譲 | 内科学講座 糖尿病・代謝内科分野 |
| Circulation J 71(4):455-459,2007 | A Community Based Epidemiological and Clinical Study of Hospitalization of Patients With Congestive Heart Failure in Northern Iwate, Japan | M. Ogawa | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| J Arrhythmia 23(2):124-130,2007 | Long-term Efficacy of Combination Therapy with Anti-arrhythmic Agents and Pravastatin in Patients with Paroxysmal Atrial Fibrillation | T.Komatsu | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Am Heart J 154(3):582-588,2007 | Association between toll-like receptor 8 expression and adverse clinical outcomes in patients with enterovirus-associated dilated cardiomyopathy | M. Satoh | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| European J of Clinical Investigation | The expression of TNF- α converting enzyme at the site of ruptured plaques in patients with acute myocardial infarction | M. Satoh | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|------------|--------------------------------|
| 38(2):97-105,2008 | | | |
| Cardiovasc Drugs Ther 21:317-318,2007 | Potential effects of angiotensin II receptor blockers on glucose tolerance and adiponectin levels in hypertensive patients | S. Makita | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Vascular Med 4(増刊):191-196,2007 | 下肢痛の鑑別 | 新沼 廣幸 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Heart View 11(5):88-94,2007 | 特集MDCTで冠動脈をとらえる/冠動脈バイパスの評価にMDCTを活かす | 新沼 廣幸 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Medical Practice 24(5):877-882,2007 | 実地医家の治療の実際 心房細動合併例治療のコツ | 小松 隆 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Annual Review 循環器 200 107-1114,2007 | II. 病因と病態 発作性心房細動と自律神経 | 小松 隆 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| 脈管学 47(3):285-290,2007 | MDCTを活用したStanford B型急性大動脈解離の急性期治療 | 新沼 廣幸 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| 心臓 39(特別号3):92-99,2007 | 非活動期の心サルコイドーシスが示唆された右室起源性心室頻拍の1例 | 橋 英明 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Progress in Medicine 27(suppl.1):34-38,2007 | 発作性心房細動例における頻拍持続時間と各抗不整脈薬療法における再発予防との関連 | 佐藤 嘉洋 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Heart View 11(10):110-113,2007 | 経皮的弁膜症インターベンションの現状と未来 | 新沼 廣幸 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| 日本内科学会雑誌 96(10):2284-2287,2007 | 今月の症例 意識障害を伴い高Na血症と高Ca血症を示したリンパ球性下垂体炎の1例 | 瀬川 利恵 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| 心臓 39(特別号4):152-159,2007 | アデノシン三リン酸に特異的感受性の室房伝導を介したリエントリー性頻拍と非通常型房室結節リエントリー性頻拍によるdouble long RP tachycardiaの1例 | 橋 英明 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| 心臓 40(1):85-88,2008 | 急性大動脈解離患者に対するカルペリチドの投与効果 | 新沼 廣幸 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Progress in Medicine 27(11):2465-2470,2007 | 特集:心房細動治療の最新知見—J-RHYTHMの結果を踏まえて 無症候性心房細動—その頻度とリスク— | 小松 隆 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| 日本心電学会誌 心電図 28(1):6-14,2008 | 不整脈予防におけるARB、ACE阻害薬とアルドステロン拮抗薬 発作性心房細動の予防におけるアンジオテンシン変換酵素阻害薬の有効性と限界 | 小松 隆 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| 心臓 40(2):138-142,2008 | 孤発性三尖弁閉鎖不全症への弁置換術後に蛋白漏出性胃腸症と重症右心不全が改善した1例 | 大島 杏子 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Progress in Medicine 28(suppl.1):40-44,2008 | I群抗不整脈薬治療抵抗性発作性心房細動に対するアミオダロン療法の予防効果と血中ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチドならびに脳性ナトリウム利尿ペプチドの臨床的意義 | 橋 英明 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Therapeutic Research 29(2):123-129,2008 | マルチチャンネル部ロッカーの心房細動に対する臨床的意義 発作性心房細動に対するシベンゾリンの停止および予防効果 | 小松 隆 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Medical Practice 25(3):494-498,2008 | 不整脈治療薬のつかいかた 心房細動における抗凝固療法最近の考えかた | 小松 隆 | 内科学講座 循環器・腎・内分泌 内科分野 |
| Respirology. 12:573-580(2007) | Efficacy and safety of inhaled ciclesonide compared with chlorofluorocarbon beclomethasone dipropionate in adults with moderate to severe persistent asthma. | Inoue H | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| Respirology. 12:566-72(2007) | Efficacy and safety of once-daily inhaled ciclesonide in adults with mild to moderate asthma: a double-blind, placebo-controlled study | Inoue H | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| Allergology International. 4:321-329(2007) | Airway Remodeling in Asthma and Irreversible Airflow Limitation—ECM Deposition in Airway and Possible Therapy for Remodeling— | Yamauchi K | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| Arth. Rheum. 56(9):S763(2007) | Pathogenesis of allergic granulomatous angitis in the experimental model with mice. | Sasaki N | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| アレルギー 56:1148(2007) | 日本人における小児と成人共通の呼吸機能検査予測式 | 井上 洋西 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| 日本呼吸器学会雑誌 45:526-542(2007) | 日本人における小児と成人共通の呼吸機能検査予測式 | 井上 洋西 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| アレルギー・免疫 4:115-123(2007) | 新規吸入ステロイド薬 シクレソニドの特徴 | 井上 洋西 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| 喘息 20:43-48(2007) | 線維芽細胞の気道リモデリングにおける役割 | 山内 広平 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| JOHNS 23-829-834(2007) | 気管支喘息における気道リモデリング | 山内 広平 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| 呼吸 26:177-181(2007) | 気管支喘息に対する外科手術時の周術期管理 | 山内 広平 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| Mebio | 気管支喘息診療 気管支喘息の合併症 妊婦と喘息管理 | 鹿内 俊樹 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--|--------------------------------|
| 24:97(2007) | | | 膠原病内科分野 |
| Topice In Aropy 6:41-46(2007) | 喘息吸入ステロイドの比較一性状、肺到達率、推奨用量 | 大河原 雄一 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| 睡眠医療 1:80-103(2007) | 閉塞型睡眠時無呼吸症候群(OSAS) 治療 nCPAP(経鼻的持続気道陽圧)療法 | 櫻井 滋 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| 今日の治療指針2007、 東京医学書院 634-635(2007) | 血管性うつ病 | 鈴木 順 | 内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野 |
| Arch Neurol 64:1121-1124,2007 | Classification of myasthenia gravis based on autoantibody status. | Suzuki S, Utsugisawa K, Nagane Y, Sato T, Terayama Y, Suzuki N, Kuwana M | 内科学講座 神経内科・老年科分野 |
| J Clinic Neurosci. 14:340-343,2007 | Increase of oxidized/total coenzyme Q-10 ratio in cerebrospinal fluid in patients with Parkinson's disease. | Isobe C, Murata T, Sato C, Terayama Y | 内科学講座 神経内科・老年科分野 |
| European Journal of Neurolog 14(s1):100,2007 | "What's the latest news on TV or papers?"-detection of cognitive impairment in a Japanese community. | Kudo M, Takahashi S, Yonezawa H, Takahashi J, Obara S, Shibata T, Sasaki M, Inoue T, Terayama Y | 内科学講座 神経内科・老年科分野 |
| European Journal of Neurolog 14(s1):297,2007 | Differences in Hippocampal MR findings with white matter wuppression sequence in MCI and Alzheimer's disease using 3 tesla MRI. | Takahashi J, Takahashi S, Yonezawa H, Kudo M, Obara S, Shibata T, Sasaki M, Inoue T, Terayama Y | 内科学講座 神経内科・老年科分野 |
| European Journal of Neurolog 14(s1):295,2007 | Changes in gray and white matter in mild cognitive impairment using 3T MRI. | Yonezawa H, Takahashi S, Takahashi J, Kudo M, Obara S, Shibata T, Sasaki M, Inoue T, Terayama Y | 内科学講座 神経内科・老年科分野 |
| Free Radical Research 42:221-225,2008 | Increased mitochondrial oxidative damage and oxjdative DNA damage contributes to the neurodegenerative process in sporadic amyotrophic lateral sclerosis. | Murata T, Ohtsuka C, Terayama Y | 内科学講座 神経内科・老年科分野 |
| CHIRURGIA 20.133-135(2007) | Successful reoair with omental flap attached to gastric tube for aortoosophageal fisutula with mycotic pseudoaneurysm. | Nakajima T, Kawazoe K, Oka T, Ikeda I, Ishida K | 外科学講座 |
| Hepatogastroenterology 54(76).1269-1271(2007) | Successful pancreatectomy with en-bloc resection of the celiac artery and portal vein for pancreatic endocrine carcinoma. | Akatsu T, Aiura K, Shimazu M, Ueda M, Wakabayashi G, Tanabe M, Kawachi S, Shinoda M, Kameyama K, | 外科学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--|-------|
| | | Kitajima M, Kitagawa Y | |
| Stem Cells Dev 16(2).319-328(2007) | In vivo visualization and portally repeated transplantation of bone marrow cells in rats with liver damage. | Haga J, Wakabayashi G, Shimazu M, Tanabe M, Takahara T, Azuma T, Sato Y, Hakamata Y, Kobayashi E, Kitajima M | 外科学講座 |
| Liver Transpl 13(10).1455-1462(2007) | Clinical characteristics of thrombotic microangiopathy following ABO incompatible living donor liver transplantation. | Miyata R, Shimazu M, Tanabe M, Kawachi S, Hoshino K, Wakabayashi G, Kawai Y, Kitajima M | 外科学講座 |
| J Gastroenterol Hepatol 22(5).749-756(2007) | Candida albicans aggravates duodenal ulcer perforation induced by administration of cysteamine in rats. | Nakamura T, Yoshida M, Ishikawa H, Kameyama K, Wakabayashi G, Otani Y, Shimazu M, Tanabe M, Kawachi S, Kumai K, Kubota T, Saikawa Y, Sano K, Kitajima M | 外科学講座 |
| Hepatogastroenterology 54(79).1919-1921(2007) | Portal vein reconstruction using a left renal vein graft for a patient with hilar cholangiocarcinoma. | Sasaki R, Fujita T, Takeda Y, Hoshikawa K, Takahashi M, Funato O, Nitta H, Yaegashi Y, Nakajima T, Saito K, Wakabayashi G, Ohkohchi N | 外科学講座 |
| World J Surg 31(9).1788-1796(2007) | Significance of ductal margin status in patients undergoing surgical resection for extrahepatic cholangiocarcinoma. | Sasaki R, Takeda Y, Funato O, Nitta H, Kawamura H, Uesugi N, Sugai T, Wakabayashi G, Ohkohchi N | 外科学講座 |
| Clin Transplant 21(4).498-501(2007) | Serum alcohol dehydrogenase;a sensitive biomarker of ongoing graft function after liver transplanation. | Shimajima N, Shimazu M, Kikuchi H, Kawachi S, Tanabe M, Hoshino K, Wakabayashi G, Moriokawa Y, | 外科学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---------------------------------------|--|---|-------|
| J Surg Res 137(1).130.140(2007) | A bioartificial liver device secreting interleukin-1 receptor antagonist for the treatment of hepatic failure in rats. | Kitajima M, Shinoda M, A.W.Tilles, Kobayashi N, Wakabayashi G, Takayanagi T, Totsugawa T, Harada H, Obara H, Suganuma K, F.Berthiaume, Shimazu M, Shimizu N, Tanaka N, Kitajima M, R.G. Tompkins, M. Toner, M.L. Yarmush | 外科学講座 |
| Mol Cancer Ther 6(3).820-832(2007) | Transcript and protein expression profiles of the NCI-60 cancer cell panel an integromic microarray study. | U.T.Shankavaram, W.C.Reinhold, Nishizuka S, S.Major, Morita D, K.K.Chary, M.A.Reimers, U. Scherf, A Kahn, D.Dolginow, J Cossman, E.P.Kaldjian, D.A.Scudiero, E. Petricoin, L. Liotta, J.K.Lee, J.N.Weinstein | 外科学講座 |
| Cancer Res 67(13).6247-6252(2007) | Quantitative assessment of the p53-Mdm2 feedback loop using protein lysate microarrays. | S.Ramalingam P.Honkanen, L.Young, Shimura T, J.Austin, P.S.Steeg, Nishizuka S | 外科学講座 |
| Proteomics 7(18).3259-3263(2007) | Antibody screening database for protein kinetic modeling. | B.Spurrier.F.L.Wa shburn, S.Asin, S.Ramalingam, Nishizuka S | 外科学講座 |
| Breast Cancer Res Treat 2007 Sep19 | Phase II study of preoperative sequential FEC and docetaxel predicts of pathological response and disease free survival. | Toi M, Nakamura S, Kuroi K, Iwata H, Ohno S, Masuda N, Kusama M. Yamazaki K, Hisamatsu K, Sato Y, Kashiwaba M, Kaise H, Kurosumi M, Tsuda H, Akiyama F, Ohashi Y, | 外科学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|--|-------|
| | | Takatsuka Y | |
| World Journal of Surgery 32(3).381-385(2008) | Endoscopic thyroidectomy by the breast approach : a shingle institution's 9-year experience. | Sasaki A, Nakajima J, Ikeda K, Otsuka K, Koeda K, Wakabayashi G | 外科学講座 |
| J Proteome Res 7(2).803-808(2008) | Quantitative protein network monitoring in response to DNA damage. | Nishizuka S, S.Ramalingam, B.Spurrier, F.L.Washburn, R.Krishna, P.Honkanen, L.Young, S.Tsutomu, P.S.Steeg, J.Austin | 外科学講座 |
| Cancer science 99(2).280-286(2008) | Downregulation of miR-138 is associated with overexpression of human telomerase reverse transcriptase protein in human anaplastic thyroid carcinoma cell lines. | Mitomo S, Maesawa C, Ogasawara S, Iwaya T, Shibazaki M, A.Yashima-Abo Kotani K, Oikawa H, Sakurai E, Izutsu N, Kato K, Komatsu H, Ikeda K, Wakabayashi G, Masuda T | 外科学講座 |
| Am J Transplant 8(3).529-36(2008) | Correlation of motility and neuronal integrity with a focus on the grade of intestinal allograft rejection. | Watanabe T, Hoshino K, Tanabe M, Morikawa Y, Kawachi S, Wakabayashi G, Shimazu M, Kitajima M | 外科学講座 |
| Virus Res 132(1-2).174-180(2008) | Transmission of hepatitis B virus (HBV) genotypes among Japanese immigrants and natives in Bolivia. | A.Khan, Tanaka Y, Saito H, Ebinuma H, Sekiguchi H, Iwama H, Wakabayashi G, Kamiya T, F.Kurbanov, A.Elkaby, Mizokami M, | 外科学講座 |
| 乳癌の臨床jpn j Breast Cancer 62(9).1181-1184(2007) | アロマターゼ阻害薬 (Anastrozole) / Doxifuridin(5' DFUR) 併用療法が著功した化学療法の方法と治療成績 | 柏葉 匡寛 稲葉 亨 藤原 久貴 高金 明典 上杉 憲幸 神谷 亮一 若林 剛 | 外科学講座 |
| 臨床外科 62(9).1181-1184(2007) | 大腸癌肝転移に関する局所凝固療法の方法と治療成績 | 高橋 正浩 新田 浩幸 佐々木 章 板橋 英教 藤田 倫寛 | 外科学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|---|----------|
| | | 星川 浩一 武田 雄一郎 船渡 治 川村 英伸 若林 剛 | |
| 日本内視鏡外科学会誌 12(1).105-110(2007) | 腹腔鏡補助下腹会陰式直腸切除を施行した直腸原発悪性黒色腫の1例 | 御供 信吾 大塚 幸喜 秋山 有史 板橋 哲也 藤澤 健太郎 若林 剛 | 外科学講座 |
| 日本外科系連合学会誌 32(1).19-22(2007) | 緊急気管挿管を必要とした咽頭外傷の1例 | 塩井 義裕 鎌田 善博 | 外科学講座 |
| 治療 89(3).31-635(2007) | 糖尿病性足壊疽で保存的に治療した2症例 | 塩井 義裕 柴野 良博 中島 隆之 | 外科学講座 |
| 日本救急医学会雑誌 18(4).135-142(2007) | 岩手県北東部におけるハチ刺傷症例の検討 | 塩井 義裕 下沖 収 皆川 幸洋 馬場 誠朗 阿部 正 井上 義博 遠藤 重厚 | 外科学講座 |
| 日本臨床外科学会雑誌 68(6).1545-1549(2007) | 脾臓および脾動静脈を温存して腹腔鏡下尾側脾切除術を施行したインスリノーマの1例 | 佐々木 章 中嶋 潤 大淵 徹 川村 英伸 上杉 憲幸 若林 剛 | 外科学講座 |
| 臨床外科学会雑誌 68(9).2229-2332(2007) | メシル酸イマチニブ奏功後、腹腔鏡下に切除した胃全摘術後脾門部局所再発GISTの1例 | 肥田 圭介 佐々木 章 藤原 久貴 高橋 正統 千葉 丈広 若林 剛 | 外科学講座 |
| 臨床外科 62(12).1603-1607(2007) | 経皮内視鏡的胃瘻造設後の胃結腸皮膚瘻に対して胃内視鏡下クリッピング術を行い、保存的に改善した1例 | 富澤 勇貴 畠山 元 杉村 好彦 細井 義行 星川 浩一 旭 博史 | 外科学講座 |
| 日本臨床外科学会雑誌 68(7).1649-1653(2007) | 経皮経食道胃管挿入術(PTEG)を施行した頭頸部癌の6例 | 富澤 勇貴 池田 健一郎 新田 浩幸 伊藤 直子 小笠原 聡 若林 剛 | 外科学講座 |
| AJNR Am J Neuroradiol. 2007;28:737-742 | Prediction of cerebral hyperperfusion after carotid endarterectomy using cerebral blood volume measured by perfusion-weighted MR imaging compared with single-photon emission CT. | Fukuda T, Ogasawara K, Kobayashi M, Komoribayashi N, Endo H, Inoue T, Kuzu Y, Nishimoto H, Terasaki K, Ogawa A | 脳神経外科学講座 |
| Neurosurgery 2007;60:1067-1074 | Concentration of malondialdehyde-modified low-density lipoprotein in the jugular bulb during carotid endarterectomy correlates with development of postoperative cognitive impairment. | Saito H, Ogasawara K, Komoribayashi N, Kobayashi M, Inoue T, Otawara Y, | 脳神経外科学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|--|----------|
| | | Ogawa A | |
| Stroke 2007;38:2712-2717 | Preoperative cerebral hemodynamic impairment and reactive oxygen species produced during carotid endarterectomy correlate with development of postoperative cerebral hyperperfusion. | Suga Y, Ogasawara K, Saito H, Komoribayashi N, Kobayashi M, Inoue T, Otawara Y, Ogawa A | 脳神経外科学講座 |
| J Neurosurg 2007;107:784-787 | Prediction of meningioma consistency using fractional anisotropy value measured by magnetic resonance imaging. | Kashimura H, Inoue T, Ogasawara K, Arai H, Otawara Y, Kanbara Y, Ogawa A | 脳神経外科学講座 |
| J Neurosurg 2007;107:881-883 | Microsurgical removal of previously placed aneurysm clips and application of new clips for recurrent cerebral aneurysms. Technical note. | Kashimura H, Ogasawara K, Kubo M, Otawara Y, Ogawa A | 脳神経外科学講座 |
| J Neurosurg 2007;107:1130-1136 | Intracranial hemorrhage associated with cerebral hyperperfusion syndrome following carotid endarterectomy and carotid artery stenting: retrospective review of 4494 patients. | Ogasawara K, Sakai N, Kuroiwa T, Hosoda K, Iihara K, Toyoda K, Sakai C, Nagata I, Ogawa A; Japanese Society for Treatment at Neck in Cerebrovascular Disease Study Group | 脳神経外科学講座 |
| Neurol Med Chir(Tokyo) 2007;47:282-284 | Complete neck clipping of internal carotid-posterior communicating artery aneurysms using bayonet-shaped aneurysm clips: technical note. | Kashimura H, Ogasawara K, Kudo Y, Ogawa A | 脳神経外科学講座 |
| Eur J Nucl Med Mol Imaging 2008;35:146-152 | Significance of postoperative crossed cerebellar hypoperfusion in patients with cerebral hyperperfusion following carotid endarterectomy: SPECT study. | Ogasawara K, Kobayashi M, Suga Y, Chida K, Saito H, Komoribayashi N, Otawara Y, Ogawa A | 脳神経外科学講座 |
| Cerebrovasc Dis 2008;25:164-169 | Cerebrospinal Fluid Adrenomedullin Concentration Correlates with Hyponatremia and Delayed Ischemic Neurological Deficits after Subarachnoid Hemorrhage. | Kubo Y, Ogasawara K, Kakino S, Kashimura H, Yoshida K, Ogawa A | 脳神経外科学講座 |
| Surg Neurol 2008;69:164-168 | Symptomatic occlusion at the origin of the vertebral artery treated using external carotid artery-cervical vertebral artery bypass with interposed saphenous vein graft. | Kakino S, Ogasawara K, Kudo Y, Kobayashi M, Kashimura H, Ogawa A | 脳神経外科学講座 |
| J Neurosurg 2008;108:1178-1183 | Magnetic resonance imaging in patients with cerebral hyperperfusion and cognitive impairment following carotid endarterectomy. | Hirooka R, Ogasawara K, Sasaki M, Yamadate K, Kobayashi M, | 脳神経外科学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-------------------------------------|--|---|----------|
| | | Suga Y, Yoshida K, Otawara Y, Inoue T, Ogawa A | |
| Skeletal Radiol 36:445-448(2007) | Tuberculous bicipitoradial bursitis. | Nishida J, Furumachi K, Ehara S, Satoh T, Okada K, Shimamura T | 整形外科科学講座 |
| J Orthop Ass 12:526-532(2007) | Japanese orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire. Part2. verificantion of its reliability. | Fukui M, Chiba K, Kawakami S, Konno S, Miyamoto M, Seichi A, Shimamura T Shirado O, Kikuchi K, Takeshita K, Tani T, Toyama Y, Wada E, Yonenobu K, Takata T Hirota Y | 整形外科科学講座 |
| Skeletal Radiol 36:823-827(2007) | Skeletal recurrences and metastases of extraskelatal myxoid chondrosarcoma. | Ehara S, Nishida J, Shiraishi H, Yoshioka H, Okada K, Sumiya H, Takano H | 整形外科科学講座 |
| J Orthop Sci 12:249-253(2007) | Comparison of responsiveness of the Japanese Society for Surgery of the Hand version of the carpal tunnel syndrome instrument to surgical treatment with DASH, SF-36, and physical findings. | Uchiyama S, Imaeda T, Toh S, Kusunose K, Sawaizumi T, Wada T, Okinaga S, Nishida J | 整形外科科学講座 |
| J Orthop Sci 12:227-240(2007) | An outcome measure for patients with cervical myelopathy: Japanese Orthopaedic Association Cervical Myelopathy Evaluation Questionnaire(JOACMEQ) :Part 1. | Fukui M, Chiba K, Kawakami M, Kikuchi S, Konno S, Miyamoto M, Seichi A, Shimamura T, Shirado O, Taguchi T Takahashi K, Takeshita K, Tani T, Toyama Y, Wada E, Yonenobu K, Tanaka T, Hirota Y | 整形外科科学講座 |
| Medical Tribune 40:79(2007) | 岩手県内の整形外科における NSAIDs と消化器用薬の使用実態 | 田島 克己 | 整形外科科学講座 |
| 岩手医誌 | 関節リウマチ患者の関節内でのヒアルロン酸分解酵素 | 徳永 勢二 | 整形外科科学講座 |

2. 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-----------------------------------|--|--|---------|
| 59:89-98(2007) | (hyaluronidase)での発現と分布について | 宇月 美和 鎌滝 章央 貝山 潤 嶋村 正 | |
| 岩手医誌 59:149-159(2007) | Alginate beads を用いた椎間板細胞三次元培養への type I collagen 添加の効果 | 丸山 盛貴 村上 秀樹 吉田 知史 遠藤 寛興 | 整形外科学講座 |
| 東北整形災害外科学会雑誌 51:66-68(2007) | 坐骨神経に発生した神経鞘腫例の検討 | 吉村 文孝 西田 淳 白石 秀夫 徳永 勢二 丸山 盛貴 和泉 在 嶋村 正 | 整形外科学講座 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌 19:172-175(2007) | 前十字靭帯損傷膝の術後成績-1重束と2重束再建術後の比較- | 佐藤 真一 米沢 勇悦 佐藤 丈才 田島 吾郎 一戸 貞文 嶋村 正 | 整形外科学講座 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌 19:196-200(2007) | プレート破損をきたした β -TCP使用 opening wedge high tibial osteotomy の1例 | 黒瀬 理恵 一戸 貞文 田島 吾郎 白倉 義博 本田 恵 嶋村 正 | 整形外科学講座 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌 19:206-211(2007) | 多中心性に発生したと考えられた手の軟骨肉腫の1例 | 後藤 実 西田 淳 白石 秀夫 大内 直久 多田 広志 嶋村 正 | 整形外科学講座 |
| 痛みと臨床 7:307-311(2007) | ここまで知っておきたい痛みへのアプローチ 腰部脊椎管狭窄症をいかに治療するか 後方除圧術-開窓術、拡大術- | 村上秀樹 | 整形外科学講座 |
| 東北膝関節研究会誌 17:35-38(2007) | 人工膝関節前置換術後感染の関節固定後偽関節を長期経過観察している SLR の1例 | 川村 竜平 一戸 貞文 田島 吾郎 亀井 陽一 黒瀬 理恵 嶋村 正 本田 恵 白倉 義博 | 整形外科学講座 |
| 関節外科 26:924-926(2007) | TOSの手術療法-進入法の観点から- | 阿部 正隆 | 整形外科学講座 |
| 関節外科 26:928-930(2007) | TOSと鑑別を要する疾患。頸椎疾患を中心に | 西田 淳 村上 秀樹 嶋村 正 | 整形外科学講座 |
| 整形・災害外科 50巻 1057(2007) | 学会も経営的視点で | 久保谷 康夫 | 整形外科学講座 |
| 膝 32:275-278(2007) | 人工膝関節置換術後静脈血栓塞栓症に対するアスピリンの有用性の検討 | 黒瀬 理恵 一戸 貞文 田島 吾郎 亀井 陽一 嶋村 正 | 整形外科学講座 |
| 日本小児整形外科学会雑誌 17:131-135(2008) | 症状消失後の単純性股関節炎の超音波画像 | 北川 由佳 白石 秀夫 嶋村 正 本田 恵 白倉 義博 田島 育郎 | 整形外科学講座 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌 20:53-56(2008) | 特発性膝関節血症に対する治療経験-1例報告- | 黒瀬 理恵 一戸 貞文 | 整形外科学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|--|---------|
| | | 田島 吾郎 亀井 陽一 佐藤 正義 嶋村 正 | |
| J Craniofac Surg 18(5):1133-1137(2007) | Reconstruction of severe maxillofacial deformity after tumorectomy and irradiation using distraction osteogenesis and Lefort I osteotomy prior to vascularized bone grafts. | Kashiwa K, Kobayashi S, Kimura H, Honda T, Nohara T, Fujiwara H, Hosoya Y, Arai Y | 形成外科学講座 |
| Plast Reconstr Surg 121(3):133e-135e(2008) | Retroauricular-calvarial bone island flap transfer to the cheek. | Kashiwa K, Kobayashi S, Nasu W, Fujiwara H, Yasuoka T | 形成外科学講座 |
| J Reconstr Microsurg 24(1):57-66(2008) | Operative technique to harvest an arterial flap from the posterolateral calf region How can we elevate a lateral gastrocnemius perforating artery flap safely. | Kashiwa K, Kobayashi S, Tono H, Ogino K, Kimura H | 形成外科学講座 |
| J Craniofac Surg 19(1):171-174(2008) | Secondary craniofacial reconstruction of huge frontoethmoidal encephalomeningocele after primary neurosurgical repair. | Nasu W, Kobayashi S, Kashiwa K, Honda T | 形成外科学講座 |
| 岩手医誌 59(1):1-9(2007) | 四肢リンパ浮腫の治療 | 柏 克彦 小林 誠一郎 | 形成外科学講座 |
| 形成外科 50(4):421-428(2007) | われわれのNuss変法とその成績 | 木村 裕明 小林 誠一郎 柏 克彦 樋口 浩文 白石 直人 林 正康 | 形成外科学講座 |
| 形成外科増刊号 50:s71-81(2007) | 頬骨・眼窩骨折の診断と標準的治療法 | 柏 克彦 小林 誠一郎 | 形成外科学講座 |
| 頭頸部癌 33(4):503-510(2007) | 神経移植による腫瘍切除後の一期的顔面神経再建 | 柏 克彦 小林 誠一郎 木村 裕明 柏谷 元 工藤 信 荻野 和仁 佐藤 宏昭 石島 健 山崎 一春 | 形成外科学講座 |
| 形成外科 ADVANCE シリー 第2版:39-48(2008) | 内視鏡による顔面骨へのアプローチ | 小林 誠一郎 樋口 浩文 | 形成外科学講座 |
| 瘢痕・ケロイド治療ジャーナル 1:86-89(2007) | ケロイド・肥厚性瘢痕に対する色素レーザー治療 | 樋口 浩文 那須 和佳子 小林 誠一郎 | 形成外科学講座 |
| 東北矯正歯科学会雑誌 15(1):25-28 | 頭蓋顎顔面領域の再建と手術侵襲 | 小林 誠一郎 柏 克彦 | 形成外科学講座 |
| Leuke Lymphoma 48:183-6, 2007 | Epstein-Barr virus-positive malignant lymphoma of salivary gland developing in an infant with selective depletion of CD4-positive lymphocytes. | Kanno H | 小児科学講座 |
| Pediatr Blood Cancer 49:240-249, 2007 | Promoter hypermethylation of the <i>RASSF1A</i> gene predicts the poor outcome of patients with hepatoblastoma. | Sugawara W | 小児科学講座 |
| Leukemia 21:288-296, 2007 | Hypercalcemia in childhood acute lymphoblastic leukemia: frequent implication of parathyroid hormone-related peptide and E2A-HLF from translocation 17;19. | Inukai T | 小児科学講座 |
| Am J Hum Genet 81: 361-366, 2007 | A longer polyalanine expansion mutation in the <i>ARX</i> gene causes early infantile epileptic encephalopathy with suppression-burst pattern (Ohtahara syndrome). | Kato M | 小児科学講座 |
| 日医師会誌 136:1321, 2007 | 岩手県での小児医療システムの取り組み | 千田 勝一 | 小児科学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|---|----------|
| 日肺サーファクタント界面医学会 38:13,2007 | 肺サーファクタント基礎講座「あなたの素朴な疑問に専門家が答えます」：人工肺サーファクタントにはどのような種類がありますか？ | 千田 勝一 | 小児科学講座 |
| 臨血 48:204-211,2007 | 小児急性リンパ性白血病治療における中枢神経系合併症 JACLS ALL-02研究 | 梅田 雄嗣 | 小児科学講座 |
| 日小児循環器会誌 23:49-54,2007 | 心臓再同期療法が有効であった重症心不全の小児例 | 高橋 信 | 小児科学講座 |
| 日小児会誌 111:1066-1071,2007 | 修正大血管転位症に合併した重症心不全に対する心臓再同期と三尖弁置換の併用療法 | 高橋 信 | 小児科学講座 |
| 日肺サーファクタント界面医学会 38:41-43,2007 | 合成ペプチドを用いた合成肺サーファクタントの評価：(1)生理活性の比較 | 内田 俊彦 | 小児科学講座 |
| 日肺サーファクタント界面医学会 38:44-46,2007 | 合成ペプチドを用いた合成肺サーファクタントの評価：(2)肺組織像の比較 | 葛西 健郎 | 小児科学講座 |
| 岩手医誌 59:11-16,2007 | 合成ペプチドを用いた人工肺サーファクタントの in vitro 表面活性 | 戸津 五月 | 小児科学講座 |
| 日小児腎臓病会誌 20:136-140,2007 | 多発嚢胞腎と心筋肥厚を伴い、妹でグルタル酸尿症Ⅱ型と判明した新生児姉妹例 | 高田 彰 | 小児科学講座 |
| 岩手医誌 59:35-39,2007 | Fontan手術の適応外と判断した不均衡型心内膜症欠損症のダウン症候群例 | 外館 玄一朗 | 小児科学講座 |
| 日未熟児新生児会誌 19:134-136,2007 | NICUにおける長期入院：今何が必要か、何が可能か | 杉本 卓也 | 小児科学講座 |
| 岩手医誌 59:299-308,2007 | 各種人工肺サーファクタントの形態学的比較 | 加賀 元宗 | 小児科学講座 |
| 岩手医誌 59:283-289,2007 | マイクロバブルテスト改良型自動機器の開発 | 塚原 央之 | 小児科学講座 |
| 岩手医誌 59:291-297,2007 | 極低出生体重児における就学時低身長の子因子解析 | 和田 泰格 | 小児科学講座 |
| ENTONI 78巻 2007 | 急性低音障害型感音難聴と突発性難聴 | 山崎 一春 | 耳鼻咽喉科学講座 |
| J Iwate Med Assoc 59巻3頁 2007 | Polymorphic analysis of the mitochondrial genome sequence in patients with presbycusis. | Ohtsuka H | 耳鼻咽喉科学講座 |
| 感覚器疾患ガイドライン外来診療 2008年度版 日経メディカル 東京 2008 | 難聴、専門医の管理・治療が必要な疾患のガイドライン | 佐藤 宏昭 | 耳鼻咽喉科学講座 |
| Audiology Japan 51巻1頁 2008 | 音場における語音聴力検査の検討 —検査語音による相違について— | 亀井 昌代 | 耳鼻咽喉科学講座 |
| Audiology Japan 51巻2頁 2008 | 当科における急性低音障害型感音難聴 —18年間の臨床統計— | 水川 敦裕 | 耳鼻咽喉科学講座 |
| Retinal Cases and Brief Report 2007;1:70-73 | Development of retinal pigment epithelium alternation following single photodynamic therapy for age-related macular degeneration. | Sugawara E, Machida S, Fujiwara T, Sakamoto S, Kurosaka D | 眼科学講座 |
| Retinal Cases and Brief Report 1:223-228 | Unilateral cone dysfunction as a manifestation of acute zonal occult outer retinopathy. | Machida S, Kizawa J, Fujiwara T, Murai K, Sugawara E, Imaizumi N | 眼科学講座 |
| Jpn J Ophthalmol 2007;51:165-174 | The effect of intravitreal N-methyl aspartic acid on the electroretinogram in Royal College of Surgeons rats. | Ohzeki T, Machida S, Takahashi T, Ohtaka K, Kurosaka D | 眼科学講座 |
| Invest Ophthalmol Vis Sci 2008;49:442-452 | Photopic ERG negative response from amacrine cell signaling in RCS rat retinal degeneration. | Machida S, Raz-Prag D, Fariss RN, Sieving PA, Bush RA | 眼科学講座 |
| Invest Ophthalmol Vis Sci 2007;48:4818-4828 | Effects of spectral characteristics of ganzfeld stimuli on the photopic negative response of the ERG. | Rangaswamy NV, Shirato S, Kaneko M, Robson JG, Digby BI, Frishman LJ | 眼科学講座 |
| The American Journal of Pathology 2008;172: 1325-1331 | Retinal dysfunction and progressive retinal cell death in SOD1-deficient mice. | Hashizume K, Hirasawa M, | 眼科学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|---|---------|
| | | Imamura Y, Noda S, Shimizu T, Shinoda K, Ozawa Y, Ishida S, Miyake Y, Shirasawa T, Tsubota K | |
| Invest Ophthalmol Vis Sci 2008;49:2201-2207 | Correlation between the photopic negative response and anatomic structure of the retinal nerve fiber layer and optic disc in glaucomatous eyes. | Machida S, Gotoh Y, Toba Y, Ohtaki A, Kaneko M, Kurosaka D | 眼科学講座 |
| 臨床眼科 2007;61:1181-1183 | トーションナル水晶体乳化吸引を用いた極小切開白内障手術 | 江川 勲 黒坂 大次郎 | 眼科学講座 |
| ONCOLOGY REPORTS 18:785-791(2007) | Inhibition of tumor growth through suppression of angiogenesis by brain-specific angiogenesis inhibitor 1 gene transfer in murine renal cell carcinoma. | Kudo S, Konda R, Obara W, Kudo D, Tani K, Nakamura Y, Fujioka T | 泌尿器科学講座 |
| Cancer Res 67(7):3276-(2007) | Oncogenic Role of MOHOSPH1, a Cancer-Testis Antigen Specific to Human Bladder Cancer. | Kanehira M, Katagiri T, Shimo A, Takata R, Shuin T, Miki T, Fujioka T, Nakamura Y | 泌尿器科学講座 |
| Cancer Sci 98(1):113-117(2007) | Validation study of the prediction system for clinical response of M-VAC neoadjuvant chemotherapy. | Takata R, Katagiri T, Kanehira M, Shuin T, Miki T, Namiki M, Kohri K, Tsunoda T, Fujioka T, Nakamura Y | 泌尿器科学講座 |
| Oncogene 26:6448-6455(2007) | Involvement of upregulation of DEPDC1 (DEP domain containing 1) in bladder carcinogenesis. | Kanehira M, Harada Y, Takata R, Shuin T, Miki T, Fujioka T, Nakamura Y, Katagiri T | 泌尿器科学講座 |
| J Urol 178(4pt1):1497-1503(2007) | Prognostic significance of vitamin D receptor and retinoid X receptor expression in renal cell carcinoma. | Obara W, Konda R, Akasaka S, Nakamura S, Sugawara A, Fujioka T | 泌尿器科学講座 |
| Int J Urol 14(6):483-487(2007) | Vitamin D receptor gene polymorphisms are associated with increased risk and progression of renal cell carcinoma in a Japanese population. | Obara W, Suzuki Y, Kato K, Tanji S, Konda R, Fujioka T | 泌尿器科学講座 |
| Cancer Res 67(11):5117-5125(2007) | Molecular Features of Hormone-Refractory Prostate Cancer Cells by Genome-Wide Gene Expression Profiles. | Tamura K, Furihata M, Tsunoda T, Ashida S, | 泌尿器科学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-------------------------------------|---|---|---------|
| | | Takata R, Obara W, Yoshioka H, Daigo Y, Nasu Y, Kumon H, Konaka H, Namiki M, Tozawa K, Kohri K, Tanji N, Yokoyama M, Shimazui T, Akaza H, Mizutani Y, Miki T, Fujioka T, Shuin T, Nakamura Y, Nakagawa H | |
| Cancer Sci 98(7):1078-1086(2007) | Association of KLK5 overexpression with invasiveness of urinary bladder carcinoma cells. | Shinoda Y, Kozaki K, Imoto I, Obara W, Tsuda H, Mizutani, Shuin T, Fujioka T, Miki T, Inazawa J | 泌尿器科学講座 |
| | Ethnic differences in the VKORC1 gene polymorphism and an association with warfarin dosage requirements in cardiovascular surgery patients. | Nakai K, Tsuboi J, Okabayashi H, Fukuhiro Y, Oka T, Habano W, Fukushima N, Nakai K, Obara W, Fujioka T, Suwabe A, Gurwitz D | 泌尿器科学講座 |
| | Does granular cell renal cell carcinoma exist? Molecular and histological reclassification. | Yang XJ, Takahashi M, Schafemak KT, Tretiakova MS, Sugimura J, Vogelzang NJ, The BT. | 泌尿器科学講座 |
| 小児外科 39(8):969-973(2007) | 小児の泌尿器外傷 | 近田 龍一郎 鈴木 泰 長谷川 道彦 井筒 俊利 藤岡 知昭 | 泌尿器科学講座 |
| 泌尿器外科 20(臨増):543-545(2007) | M-VAC術前補助化学療法感受性予測の臨床応用に向けた感受性予測カードシステムの構築 | 高田 亮 片桐 豊雅 兼平 貢 藤岡 知昭 中村 祐輔 | 泌尿器科学講座 |
| 実験医学 25(17臨増):63-71(2007) | 進行性膀胱癌における M-VAC術前化学療法の有効性診断法の開発 | 高田 亮 片桐 豊雅 中村 祐輔 藤岡 知昭 | 泌尿器科学講座 |
| 臨泌 61(5):287-289(2007) | 腎部分切除の適応と限界 | 大園 誠一郎 藤岡 知昭 | 泌尿器科学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|--|---------|
| | | 仙賀 裕 | |
| 大田健・奈良信雄 編 今日の診断基準 p412-413 南江堂、東京 2007 | 腎癌 | 藤岡 知昭 | 泌尿器科学講座 |
| 腎泌尿器予防医誌 VOL 1.15(1)101-103 | 一般演題「腎疾患」：腎細胞癌を合併した後天性嚢胞腎におけるHIG2、HIFの発現 | 杉村 淳 近田 龍一郎 小原 航 相馬 文彦 富樫 亮 片桐 豊雅 中村 祐輔 藤岡 知昭 | 泌尿器科学講座 |
| 診療泌尿器科61(12) 1011-1014(2007) | 顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を生産した膀胱腫瘍 | 小松 淳 鈴木 薫 岩崎 一洋 小原 航 鈴木 泰 藤岡 知昭 | 泌尿器科学講座 |
| 臨床泌尿器61(7) 549-552(2007) | 後腹膜に発生した繊維腫症 | 前川 滋克 小原 航 井筒 俊利 大澤 泰介 鈴木 正道 藤岡 知昭 | 泌尿器科学講座 |
| 山口徹、北原光夫、福井次矢編 きょうの治療指針 2007 p798-799 医学書院 東京 2007 | 膀胱・尿道・陰茎損傷 | 藤岡 知昭 | 泌尿器科学講座 |
| 木原和徳編新しい診断と治療の ABC45;腎癌・膀胱癌 p91-100 最新医学社 東京2007 | 腎癌・診療ガイドライン | 藤岡 知昭 小原 航 | 泌尿器科学講座 |
| 福井次矢編 研修医のための 卒後臨床研修ガイドブック p455-462 長井書店 大阪 2007 | 妊娠分娩と生殖器疾患(男性生殖器) | 藤岡 知昭 | 泌尿器科学講座 |
| Nuclear Instruments and Methods in Physics Research 206(1)164 S 64037,2007 | Optimizing the radiosensitive liquid-core microcapsules for the targeting of chemotherapeutic agents. | Harada S | 放射線医学講座 |
| International Journal of PIXE Vol 17,Nos.1&2 33(2007) | Improvement of radiosensitive liquid-core microcapsules by Yttrium polymerization. | Harada S | 放射線医学講座 |
| Cardiovasc Intervent Radiol 30(4):601-606(2007) | Angioplasty for Non-arteriosclerotic renal artery stenosis: the efficacy of cutting balloon angioplasty versus conventional angioplasty. | Tanaka R | 放射線医学講座 |
| Radiation Medicine 25:368-372(2007) | Improvement in image quality of non-contrast head images in multidetector row CT by volume helical scanning with three-dimensional denoising filter. | Sasaki M | 放射線医学講座 |
| Cardiovascular Anesthesia 11:21-23(2007) | 先天性心疾患患者の非心臓手術の麻酔 | 門崎 衛 | 麻酔科学講座 |
| 岩手医誌 59:161-165(2007) | 岩手医科大学附属病院における中央手術室以外の麻酔科医による麻酔管理症例についての検討 | 小林 隆史 | 麻酔科学講座 |
| ペインクリニック 28:998-1000(2007) | 腰下肢痛で発症した1型神経線維腫症の1症例 | 大畑 光彦 | 麻酔科学講座 |
| 臨床麻酔 31:1203-1204(2007) | 拘束性肺障害を合併した脊椎後彎症に対し、脊椎後方固定術を施行した患者の周術期管理 | 永田 博文 | 麻酔科学講座 |
| J Iwate Med Assoc 59:393-397(2007) | Epidural anesthesia for a patient with isolated noncompaction of ventricular myocardium undergoing cesarean section. | Sato Y | 麻酔科学講座 |
| Journal of Analytical Toxicology 31(3):132-137(2007.04) | Five cases of aconite poisoning: toxicokinetics of aconitines | Fujita Y, Terui K, Fujita M, Kakizaki A, Sato N, Oikawa K, Aoki H, Takahashi K, Endo S | 救急医学講座 |
| Medical Postgraduates 45(2):123-137(2007.04) | Procalcitonin level as a reliable indicator of the severity of abdominal sepsis. | Hakozaki M, Sato N, | 救急医学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|---|--------|
| | | Kasai T, Suzuki Y, Ogawa M, Kojika M, Takahashi G, Imai S, Miyata M, Idhibe Y, Kikuchi S, Shibata S, Shioya N, Yaegashi Y, Endo S | |
| Medical Postgraduates 45(2):42-45(2007.04) | Relationship of the serum procalcitonin level with the severity of acute pancreatitis. | Sato N, Endo S, Kasai T, Inoue Y, Fujino Y, Onodera M, Imai S, Suzuki Y, Ogawa M, Kojika M, Takahashi G, Hakozaki M, Kikuchi S, Yaegashi Y | 救急医学講座 |
| Medical Postgraduates 45(2):118-122(2007.04) | 敗血症迅速診断法としてのイムノクロマトグラフィー法によるプロカルチニン値測定の意義 | 遠藤 重厚 佐藤 信博 鈴木 泰 小川 雅彰 小鹿 雅博 塩谷 信喜 柴田 繁啓 高橋 学 箱崎 将規 宮田 美智子 石部 頼子 菊池 哲 葛西 健 | 救急医学講座 |
| 岩手医学雑誌 59(1):29-33(2007.04) | 継続してプロカルチニン値を測定し得た熱傷の1症例 | 遠藤 重厚 山田 裕彦 佐藤 信博 高橋 学 宮田 美智子 箱崎 将規 石部 頼子 磯野 寿育 八重樫 泰法 葛西 健 | 救急医学講座 |
| 岩手医学雑誌 59(1):17-28(2007.04) | in situ hybridization法による敗血症早期診断 | 高橋 学 佐藤 信博 鈴木 泰 小鹿 雅博 遠藤 重厚 若林 剛 昆 浩 諏訪部 章 | 救急医学講座 |
| ICUとCCU 31(6):407-410(2007.06) | 新しいエンドトキシン測定法 (Endotoxin Activity Assay) の有用性と問題点 | 遠藤 重厚 佐藤 信博 鈴木 泰 小鹿 雅博 高橋 学 八重樫 泰法 | 救急医学講座 |
| 岩手医学雑誌 59(2):127-138(2007.06) | 敗血症における血中サイトカイン・ケモカイン多項目同時定量サスペンションアレイシステムを用いた検討 | 箱崎 将規 佐藤 信博 | 救急医学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|--|--------|
| | | 小鹿 雅博 小川 雅彰 高橋 学 鈴木 泰 前沢 千早 若林 剛 | |
| Medical Postgraduates 45(3):247-250(2007.07) | 敗血症に対する抗TNFモノクローナル抗体投与時のプロカルチニン値の推移 症例報告 | 遠藤 重厚 葛西 健 佐藤 信博 鈴木 泰 小鹿 雅博 高橋 学 宮田 美智子 菊池 哲 松本 尚也 小豆島 立頼 柴田 繁啓 山田 裕彦 八重樫 泰法 | 救急医学講座 |
| Medical Postgraduates 45(3):251-255(2007.07) | プロカルチニン値は敗血症時の組織酸素代謝と皮下血流量を反映する | 小鹿 雅博 佐藤 信博 菊池 充 鈴木 泰 小川 雅彰 箱崎 雅規 高橋 学 宮田 美智子 菊池 哲 磯野 寿育 塩谷 信喜 柴田 繁啓 葛西 健 遠藤 重厚 | 救急医学講座 |
| 日本腹部救急医学会雑誌 27(5):765-768(2007.07) | アニサキス症による出血性胃潰瘍の1例 | 小野寺 誠 藤野 靖久 井上 義博 今井 聡子 遠藤 重厚 | 救急医学講座 |
| 中毒研究 20(3):263-268(2007.07) | 急性腎不全を合併し血液透析にて軽快したセメント急結剤中毒の1例 | 藤野 靖久 井上 義博 小野寺 誠 磯野 寿育 遠藤 重厚 山家 健仁 藤田 友嗣 | 救急医学講座 |
| 岩手医学雑誌 59(3):239-244(2007.08) | 敗血症患者に対する抗tumor necrosis factorモノクローナル抗体投与効果の検討 症例報告 | 遠藤 重厚 佐藤 信博 鈴木 泰 小鹿 雅博 高橋 学 菊池 哲 松本 尚也 柴田 繁啓 山田 裕彦 八重樫 泰法 | 救急医学講座 |
| 日本臨床救急医学会雑誌 10(4):415-421(2007.08) | ICU入室患者における急性呼吸不全実態調査 | 遠藤 重厚 宮手 美治 廣田 和美 多治見 公高 加藤 正人 川前 金幸 村川 雅洋 | 救急医学講座 |
| 日本消化器病学会雑誌 104(8):1218-1224(2007.08) | 内視鏡的治療と経皮的ドレナージにて治療した急性輸入脚症候群の1例 | 藤野 靖久 井上 義博 小野寺 誠 | 救急医学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|---|--------|
| | | 佐藤 信博 遠藤 重厚 大森 浩明 鈴木 一幸 | |
| 日本救命医療学会雑誌 21:65-70(2007.09) | ワルファリン内服中に発症した頭蓋内出血症例に対する乾燥人血液凝固第IX因子複合体の投与 | 吉田 研二 佐々木 輝夫 和田 司 樫村 博史 吉田 雅樹 小川 彰 遠藤 重厚 | 救急医学講座 |
| Medical Postgraduates 45(4):307-310(2007.10) | 抗エンドトキシンモノクローナル抗体投与時のプロカルチニン値の推移:症例報告 | 遠藤 重厚 葛西 健 佐藤 信博 鈴木 泰 小鹿 雅博 高橋 学 宮田 美智子 菊池 哲 松本 尚也 小豆島 立頼 塩谷 信喜 柴田 繁啓 山田 裕彦 八重樫 泰法 | 救急医学講座 |
| 岩手医学雑誌 59(4):319-323(2007.10) | エンドトキシン血症に対する抗エンドトキシンモノクローナル抗体投与効果の検討 症例報告 | 遠藤 重厚 山田 裕彦 佐藤 信博 鈴木 泰 小鹿 雅博 高橋 学 菊池 哲 塩谷 信喜 柴田 繁啓 八重樫 泰法 | 救急医学講座 |
| Medical Postgraduates 45(4):311-314(2007.10) | 熱傷症例におけるプロカルチニン値の検討 | 山田 裕彦 塩谷 信喜 柴田 繁啓 高橋 学 石部 頼子 宮田 美智子 菊池 哲 磯野 寿育 今井 聡子 佐藤 信博 葛西 健 遠藤 重厚 | 救急医学講座 |
| 日本腹部救急医学学会雑誌 27(7):923-928(2007.11) | 【下部消化管出血に対する診断と非手術的治療】 下部消化管出血の原因疾患と内視鏡治療 | 井上 義博 菊池 哲 小野寺 誠 藤野 靖久 小鹿 雅博 佐藤 信博 遠藤 重厚 | 救急医学講座 |
| 日本門脈圧亢進症学会雑誌 13(3):160-164(2007.11) | 食道・胃静脈瘤に対する塞栓療法前後における定量的精神神経機能検査の変動の検討 | 小野寺 誠 加藤 章信 井上 義博 藤野 靖久 鈴木 一幸 | 救急医学講座 |
| 岩手医学雑誌 59(5):325-331(2007.12) | 敗血症診断における可溶性CD-14サブタイプの有用性と簡易診断キットの検討 | 宮田 美智子 佐藤 信博 高橋 学 小鹿 雅博 遠藤 重厚 白川 嘉門 古迫 正司 | 救急医学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|---|----------|
| 侵襲と免疫 16(4):170-172(2007.12) | 重症急性胆管炎のサイトカイン動態と抗ショック療法 | 佐藤 信博 小鹿 雅博 鈴木 泰 吉川 智宏 柴田 繁啓 小野寺 誠 藤野 靖久 井上 義博 遠藤 重厚 若林 剛 | 救急医学講座 |
| 岩手医学雑誌 59(5):399-404(2007.12) | 著明な肝酵素の上昇をきたした慢性腎不全の2症例 | 小野寺 誠 藤野 靖久 井上 義博 遠藤 重厚 鈴木 一幸 | 救急医学講座 |
| Medical Postgraduates 46(1):65-71(2008.01) | Examination of procalcitonin value by a difference of origin bacteria in patients with sepsis. | Takahashi G, Sato N, Suzuki Y, Kojika M, Miyata M, Idhibe Y, Kikuchi S, Matsumoto N, Shouzushima T, Shioya N, Shibata S, Yaegashi Y, Kasai T, Endo S | 救急医学講座 |
| 中毒研究 21(1):75-81(2008.01) | 血中臭化ジスチグミン濃度を測定したコリン作動性クリーゼの3症例 | 小野寺 誠 藤野 靖久 井上 義博 遠藤 重厚 藤田 友嗣 | 救急医学講座 |
| Progress in Medicine 28(2):437-439(2008.02) | 肺炎に起因するALI/ARDSIに対するシベレスタットナトリウム投与の検討 | 佐藤 信博 鈴木 信博 鈴木 泰 小鹿 雅博 青木 毅一 高橋 学 菊池 哲 宮田 美智子 松本 尚也 吉川 智宏 小豆島 立頼 真壁 秀幸 塩谷 信喜 柴田 繁啓 小野寺 誠 藤野 靖久 山田 裕彦 井上 義博 遠藤 重厚 | 救急医学講座 |
| Journal of Traditional Medicine 25(3):67-73(2008.03) | Relationship between serum aconitines level and clinical features of aconite poisoning. | Terui K, Fujita Y, Takei M, Aoki H, Endo S | 救急医学講座 |
| ICUとCCU 32(3):191-197(2008.03) | 重症感染症起因菌の早期同定 | 高橋 学 佐藤 信博 小鹿 雅博 遠藤 重厚 | 救急医学講座 |
| Pharmacogenomics 8:713-713(2007) | Ethnic differences in the VKORC1 gene polymorphism and an association with warfarin dosage requirements in patients with cardiovascular surgery. | Nakai K | 臨床検査医学講座 |

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|----------|----------|
| Bioinform. Biol. Insights 1:63-69(2007) | Screening the single nucleotide polymorphisms in patients with internal carotid artery stenosis by oligonucleotide-based custom DNA array. | Nakai K | 臨床検査医学講座 |
| Int Heart J 48:701-713(2007) | Development of signal-averaged vector-projected 187-channel high-resolution electrocardiogram for the evaluation of the spatial location of high-frequency potentials and abnormal ventricular repolarization. | Nakai K | 臨床検査医学講座 |
| Leuk Res 31:1343-9(2007) | Clinical significance high-km 5'-nucleotidase (cN-II)mRNA expression in high-risk myelodysplastic syndrome. | Suzuki K | 臨床検査医学講座 |
| 日本臨床化学会東北支部会 16:18-27(2007) | NST介入患者における血清微量元素の動態 | 三浦 吉範 | 臨床検査医学講座 |
| 日本肺サーファクタント・ 界面医学会雑誌 38:35-37(2007) | サーファクタント分泌の新たな様式 -Wet SEMカプセルを用いた走査電顕像による観察- | 小笠原 理恵 | 臨床検査医学講座 |

計 222

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

| | | | |
|---------|--------------|-------------|------------|
| 管理責任者氏名 | 病院長 小林 誠一郎 | | |
| 管理担当者氏名 | 病院事務部長 柳沢 茂人 | 看護部長 及川 吏智子 | 薬剤部長 高橋 勝雄 |
| | 医事課長 塚澤 仁敏 | 医務課長 水本 義久 | |

| | | 保管場所 | 分類方法 | |
|---|--|--|--|---------|
| 診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約 | | 病院事務部 診療記録管理室 各診療科 薬剤部 看護部 | 診療記録等の管理は、1患者1番号制(ID番号)により管理している。入院診療録は、1入院1診療録とし、ターミナル・デジタル方式による収納としている。外来診療録は1患者各診療科別診療録とし、各診療科による収納としている。 | |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 総務部人事職員課 | | |
| | 高度の医療の提供の実績 | 病院事務部 医事課 各診療科 | | |
| | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 病院事務部 医務課 | | |
| | 高度の医療の研修の実績 | 〃 | | |
| | 閲覧実績 | 〃 | | |
| | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 病院事務部 医事課 | | |
| | 入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 病院事務部 医務課 薬剤部 | | |
| | 規則第9条の2、3及び第11条各号に掲げる安全管理のための体制 確保の状況 | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | | 医療安全管理部 |
| | | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | | 〃 |
| | | 医療に係る安全管理を行う部門の配置状況 | | 〃 |
| 当該病院内に患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況 | | 医療福祉相談室 | | |
| 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | | 医療安全管理部 | | |
| 医療に係る安全管理のための委員会の開状況 | | 医療安全管理部 | | |
| 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | | 医療安全管理部 | | |
| 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | | 医療安全管理部 | | |

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | |
|-------------|---|
| 閲覧管理者氏名 | 病院事務部長 柳 沢 茂 人 |
| 閲覧担当者氏名 | 病院事務部医務課長 水 本 義 久 病院事務部医事課長 塚 澤 仁 敏 総務部次長 横 沢 正 浩 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 諸記録閲覧室、カンファレンスルーム、会議室 |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| | | |
|-----------|--------|-------|
| 前年度の総閲覧件数 | 延 | 2 件 |
| 閲覧者別 | 医師 | 延 0 件 |
| | 歯科医師 | 延 0 件 |
| | 国 | 延 1 件 |
| | 地方公共団体 | 延 1 件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

| | | | |
|------|------------------------|------|---------------------------|
| 紹介率 | 50.3% | 算定期間 | 平成19年 4月 1日 ~ 平成20年 3月31日 |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数 | | 14,126人 |
| | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | | 14,336人 |
| | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 | | 2,053人 |
| | D: 初診の患者の数 | | 46,234人 |

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

| | |
|--|---------|
| ① 任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 有 (名)・無 |
| ② 専任の院内感染対策を行う者の設置状況 | 有 (名)・無 |
| ③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 有・無 |
| ・所属職員：専任 (7) 名 兼任 (56) 名 ・活動の主な内容：インシデント・アクシデント収集分析、医療事故防止マニュアルの作成、事故発生防止対策の検討、医療事故防止セミナー及び医療安全推進講演会の開催、医療安全推進委員会の開催、診療部門定期視察・指導他 | |
| ④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 有・無 |
| ⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 有・無 |
| ・指針の主な内容：基本理念、目的、用語の定義、委員会の設置、医療安全管理のためのマニュアル整備、医療安全管理体制の確立、インシデント事例の要因分析と防止の具体策報告、医療事故発生時並びに発生日以降の対応並びに連絡体制、医療安全のための職員の教育・研修他 | |
| ⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 年12回 |
| ・活動の主な内容：委員会の名称「岩手医科大学付属病院医療安全推進委員会」(平成11年11月25日設置) 開催頻度 毎月1回(第4木曜日定期開催)に加え適宜開催 ①インシデント・アクシデント報告等で得られた事例の発生原因分析、再発防止対策の検討周知に関すること ②発生した医療事故に対する対応及び再発防止策に関すること ③医療事故防止活動及び医療安全に関する職員研修等の企画立案 ④その他医療安全に関すること | |
| ⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年36回 |
| ・研修の主な内容： ①期日：平成19年5月18日(金) 演題：改訂マニュアルの理解と徹底 講師：医療安全管理部長 小林誠一郎 医療安全推進室長 高橋 智 ②期日：平成19年6月21日(木) 演題：医療事故発生時の対応 講師：砺波総合病院 参与 伊藤 恒子 ③期日：平成19年11月22日(木) 演題： Medikation エラー防止に必要な視点 講師：金沢大学附属病院准教授 古川 裕之 ④期日：平成20年1月31日(木) 演題：抗がん剤の職員被曝の現状と対策 講師：名古屋大学 医療経営管理部 杉浦 伸一 | |
| ⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | |
| ・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無) ・その他の改善のための方策の主な内容：リスクマネージャーを中心としたスタッフミーティングにおいて、インシデント・アクシデントの内容を分析し、具体的な防止対策を検討した結果について各種会議に報告し、各医療現場にフィードバックさせ、全職員に医療事故防止にかかる共通認識を持たせる。 | |